



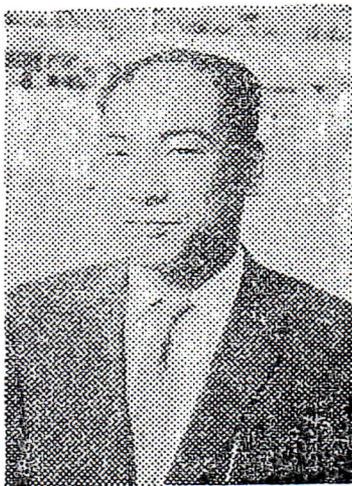
山梨庭球協会会長になった

やま だ しげ お  
山田 茂 男氏

「この人の取材を…」と電

話すると「わたしは遠慮しますよ。または生まれたばかりだから、何かいいことでもしたときに」との返事。「それでは困るんですが」というと「そうですか、そっとしておいてもらいたいところですが、まあいいでしょう」  
笑い声が聞こえた。

健康そうな小麦色の顔。スポーツシツツがよく似合いそうなからだつき。「三十八年に硬式の甲友



「二十歳ごろ硬式を始めて病みつきになったが「最近ばかりラケットを持ちません。だから、硬式をやると話すと笑われることがある」そうだ。

クラブが生まれたときから協会設立はみんなの願いだっただけでなく、なかなか機運が盛りあがらなくって。でも、硬式の協会がないのは関東方面では本県だけです。それに国体誘致のためにはどうし

す。この人がいたから協会が生まれただけです」という。また「名会長ですよ」という人も多い。しかし本人は「とても、とても。みなさんにおんぶして歩いているんですよ」と笑う。

酒はまあまあ。タバコは戦争中、入手困難になったときにやめてから一本も吸わない。朝日新聞社から二十八年に三和電線に入社と同時に中巨摩郡敷島町にある同社甲府工場に赴任、三十年同社工場長になった。家族は靖子夫人(モト子)も二人。住所は中巨摩郡敷島町中下条の三和電線甲府工場内。茨城県出身。四十九歳。

ても必要です」から「ひかえ目に話すが、いわば本県の硬式庭球育の親。甲友クラブをつくったのも、こんどの協会を設立させたのも、その陰にはこの人の努力があ

す。この人がいたから協会が生まれただけです」という。また「名会長ですよ」という人も多い。しかし本人は「とても、とても。みなさんにおんぶして歩いているんですよ」と笑う。

酒はまあまあ。タバコは戦争中、入手困難になったときにやめてから一本も吸わない。朝日新聞社から二十八年に三和電線に入社と同時に中巨摩郡敷島町にある同社甲府工場に赴任、三十年同社工場長になった。家族は靖子夫人(モト子)も二人。住所は中巨摩郡敷島町中下条の三和電線甲府工場内。茨城県出身。四十九歳。

ですから、せめてデビスカップの選手を出したいです。まず、山梨県内の高校で硬式をやっているのは二校しかないのも、もっと多くの高校に呼びかけて選手層を厚くすることです。技術的には軟式よりもやさしいかも知れません」

山梨日日新聞に取り上げられた山田会長  
昭和41年5月16日